Cochlear™

Nucleus® CR210 リモートコントロール

取扱説明書

Hear now. And always

Cochlear®

Cochlear™ Nucleus® (コクレア・ニュークレアス) CR210 リモートコントロールは、Cochlear Nucleus CP910、CP920 (CP900 シリーズ)、または Kanso® (カンソ) (CP950) サウンドプロセッサでよく使う機能を手元で操作するための携帯型機器です。

リモートコントロールでは、以下の操作が可能です。

- プログラムの変更
- 音量/感度の調整
- True Wireless アクセサリからのストリーミングの開始/停止
- プラグインオーディオアクセサリの起動/停止
- テレコイルの起動/停止
- オートテレコイルの起動/停止 (利用可能な場合)

サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合は、リモートコントロールで、一度に両方のサウンドプロセッサと通信できます (互換性による)。

サウンドプロセッサの詳細については、取扱説明書を参照してください。

本書は、Cochlear Nucleus CP910、CP920、または Kanso サウンドプロセッサを使用する人工内耳装用者およびその介助者を対象としています。

アドバイス
リモートコントロールと電池の使用に関連する警告および注意については、「警告」のセクションを参照してください。

アドバイス
Cochlear 人工内耳システムに該当する基本的なアドバイスについては、『警告と予防措置の手引き』も参照してください。

本説明書で使われる記号

アドバイス
重要な情報またはアドバイスです。

ヒント
効率的にお使いいただくためのヒントです。

注意
安全かつ有効にお使いいただくための注意事項です。機器が破損する恐れがあります。

CR210 リモートコントロール

プログラム

テレコイル
ボタン

次のプロ
グラムボタン

前のプロ
グラムボタン

ストラップ
取り付け部

音量/感度
ペア設定され
たサウンドプ
ロセッサ
オン/オフ
スイッチ

音量/
感度アップ
ボタン

音量/
感度ダウン
ボタン

リモートコントロール上のその他の表示

テレコイル
作動中

リモートコン
トロールの電
池残量低下

オートテレコ
イル作動中

アクセサリ
作動中

目次

概要 1

電池 5

電源を入れる 9
電源を入れる 10
ワイヤレスアクセサリ 11
ペア設定 12
通信範囲外 13

使用する 15
プログラムの変更 16
音量/感度の調整 17
ワイヤレスアクセサリ 18
プラグインオーディオアクセサリ 19
テレコイル 20

お手入れ 23
清掃 24
リモートコントロールが濡れた場合 24

トラブルシューティング 27

警告 30

その他の情報 31

電池

電池

電池残量低下マークが表示されている場合、またはリモートコントロールの電源を入れようとしてもディスプレイに何も表示されない場合は、電池を交換します。電池は最大 3 か月持ちます (リモートコントロールを 1 日に約 15 回使用した場合)。30 ページの「警告」を参照してください。

電池の交換

1

小型のプラス (十字) ドライバでネジを反時計回りに回して緩め、電池カバーを取り外せる状態にします。

2

電池カバーをスライドさせて外し、電池を取り出します。

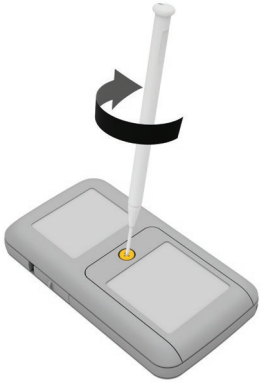
3

新しい電池を入れます。プラス記号 (+) の面が上になるようにします。電池端子が損傷しないように注意してください。

4

電池カバーの下端を差し込み、カバーを閉じます。

5



小型のプラスドライバでネジを時計回りに回してしっかりと締め、電池カバーを固定します。

注意
リモートコントロールでは、必ず CR2032 または 5004LC 3V の使い捨てコイン型リチウム電池を使用してください。コイン充電池や他の種類の電池は絶対に使用しないでください。

電源を入れる

電源を入れる 10
電源を切る 11
ペア設定 12
通信範囲外 13

電源を入れる

スイッチを上へスライドさせて電源を入れます。

スイッチが上の位置にある時に、リモートコントロールをしばらく操作しないとスリープ状態になります。いずれかのボタンを押すと、スリープ状態から復帰します。

電源を切る

スイッチを下へスライドさせて電源を切ります。

ヒント
ポケットに入れて持ち運ぶときなど、操作しない時にリモートコントロールがスリープ状態から復帰しないようにするには、電源を切ってください。

ペア設定

ペア設定を行うと、2 つの機器間の通信ができるようになります。病院の先生がリモートコントロールとサウンドプロセッサをすでにペア設定している場合もあります。設定していない場合は、リモートコントロールを初めて使用する時にペア設定する必要があります。

アドバイス
リモートコントロールとワイヤレスアクセサリのペア設定の詳細については、『Cochlear True Wireless アクセサリ取扱説明書』を参照してください。

リモートコントロールがどのサウンドプロセッサともペア設定されていない場合、リモートコントロールのディスプレイには線が表示され (左図を参照)、いずれかのボタンを押すと点滅します。

サウンドプロセッサとリモートコントロールをペア設定する

1

サウンドプロセッサとリモートコントロールの電源を入れます。スリープ状態になっている場合は、スリープ状態を解除してください。

2

送信コイル/サウンドプロセッサをリモートコントロールの裏面に当てます。

3

リモートコントロールに、ペア設定進行中の表示が出ます。

4

リモートコントロールに、左側 (L) または右側 (R) のサウンドプロセッサと正常にペア設定されたことが表示されます。

5

サウンドプロセッサを 2 台お使いの場合は、2 台目のサウンドプロセッサに対しても 2 ～ 4 の手順を繰り返します。

通信範囲外

サウンドプロセッサが通信範囲外にあるか、電磁波干渉を受けている場合、リモートコントロールに線が表示されます (左図を参照)。

使用する

プログラムの変更 16
音量/感度の調整 17
ワイヤレスアクセサリ 18
プラグインオーディオアクセサリ 19
テレコイル 20

プログラムの変更

病院の先生はサウンドプロセッサに最大 4 つのプログラムを設定でき、装用者はリモートコントロールでプログラムを選択できます。

押すと、次のプログラムに移動する

押すと、前のプログラムに移動する

2 台のサウンドプロセッサを調整する

リモートコントロールでは、2 台のサウンドプロセッサを同時に調整できます。

2 台のサウンドプロセッサの設定がそれぞれ異なっている場合 (片方をサウンドプロセッサ本体のボタンで調整した場合など)、リモートコントロールには、左側のサウンドプロセッサのプログラムと音量/感度設定が表示されます。どちらかのサウンドプロセッサでテレコイルまたはアクセサリが起動している場合は、それを示すアイコンがリモートコントロールに表示されます。

音量/感度の調整

通常、病院の先生は、音量が調整できるようにリモートコントロールを設定します。感度を調整できるように設定してもらうこともできます (対応する場合)。音量は、聞こえる音の大きさです。感度は、小さな音、背景音、近くや遠くの音など、聞こえる音の範囲です。最大 10 の音量レベルまたは 21 の感度レベルから選択できます。

押すと、音量/感度が上がる

押すと、音量/感度が下がる

現在の設定を表示する

リモートコントロールの電源を入れると、現在の設定 (音量など) が表示されます。リモートコントロールの電源を切っている間にサウンドプロセッサ本体のボタンまたはリモートアシスタントを使って設定を変更していた場合でも、その変更が反映されます。

注意

音量を頻繁に調整しなくてはならない場合や、音量を調整すると聴きづらくなる場合には、病院の先生に相談してください。

ワイヤレスアクセサリ

Cochlear True Wireless アクセサリをサウンドプロセッサとともに使用すると、リモートコントロールでワイヤレスアクセサリをコントロールし、ステータスをモニタリングできます。

アドバイス
音声をストリーミングする前に、ワイヤレスアクセサリをサウンドプロセッサとペア設定する必要があります。詳しくは、『Cochlear True Wireless アクセサリ取扱説明書』を参照してください。

ミニマイクロホンまたはテレビストリーマーを使用する

音声のストリーミングを開始するには、テレコイルボタンを長押しします。
アクセサリアイコンが表示されます。

ヒント
テレコイルボタンをもう一度長押しすると、ペア設定された次のワイヤレスアクセサリを選択できます。

音声のストリーミングを停止するには、テレコイルボタンを短く押します。
アクセサリアイコンが消えます。

アドバイス
フォークリップのコントロールを使用すると、電話の発信や応答ができます。

プラグインオーディオアクセサリ

プラグインオーディオアクセサリをサウンドプロセッサに接続すると、そのアクセサリが自動的に起動し、リモートコントロールにアクセサリアイコンが表示されます。テレコイルが起動している場合、テレコイルは自動的に停止します。

オーディオアクセサリが接続されている場合、リモートコントロールでアクセサリを停止/再起動できます。

オーディオアクセサリを停止する

テレコイルボタンを 1 回短く押します。アクセサリアイコンが消えます。

オーディオアクセサリを再起動する

テレコイルボタンを 1 回短く押します。アクセサリアイコンが表示されます。

テレコイル

テレコイル機能を使用すると、磁気ループからの音や、テレコイル対応電話の声を聴くことができます。テレコイル機能には手動によるテレコイルとオートテレコイル (利用可能な場合) があり、使用するためには病院の先生にサウンドプロセッサを設定してもらう必要があります。オートテレコイルを起動すると、磁気ループの範囲内にいる時や、テレコイル対応の電話を使う時に、音声信号が自動的に検知されます。

テレコイルをオーディオアクセサリと同時に使用することはできません。

アドバイス
オートテレコイルがオンの時に、特定の電子機器または機械からの信号を検知し、受信してしまうことがあります (ブーンという音が聞こえることがあります)。
この場合は、その機器または機械から離れ、オートテレコイルが信号を受信しなくなるまで数秒間待つか、手動でオートテレコイルを停止します。

アドバイス
Cochlear Wireless Phone Clip (コクレア ワイヤレス フォーンクリップ) を使用して電話を発信することもできます。ワイヤレスアクセサリ (18 ページ) を参照してください。

テレコイルを起動する *(設定されている場合)*

テレコイルボタンを 1 回短く押します。
テレコイルアイコンが表示されます。

オートテレコイルを起動する *(設定されている場合)*

テレコイルボタンを 2 回短く押します。テレコイルアイコンと「AUTO」が表示されます。

テレコイルを停止する

テレコイルボタンを 1 回短く押します。テレコイルアイコンが消えます。

お手入れ

清掃

リモートコントロールは常に清潔に保ち、濡れないようにしてください。

リモートコントロールのディスプレイと操作ボタンは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

リモートコントロールが濡れた場合

1

乾いた柔らかい布でリモートコントロールを拭き取ります。

2

電池を取り出します。
6 ページの「電池の交換」を参照してください。

アドバイス
電池を交換する前に、リモートコントロールに水分が残っていないか確認します。残っている場合は、乾いた柔らかい布で、もう一度拭きます。

3

4

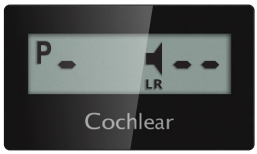
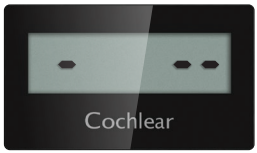
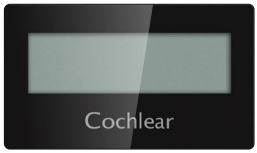
暖かく、風通しの良い場所　(子どもの手が届かず、直射日光が当たらない場所) にリモートコントロールを置き、約 12 時間乾かします。

リモートコントロールを乾かす際は、乾燥用のキットや家庭用電気機器 (ドライヤーなど) を使用しないでください。

新しい電池を入れます。
6 ページの「電池の交換」を参照してください。

トラブルシューティング

トラブルシューティング

問題	解決策
リモートコントロールで、プログラムの変更や、音量/感度の調整ができない 	• 2 台のサウンドプロセッサをお使いの場合は、両方のサウンドプロセッサの電源が入っていることを確認します。 • リモートコントロールをサウンドプロセッサに近づけます。 • リモートコントロールを、金属性のもの (鍵など) や、干渉を引き起こす可能性があるもの (携帯電話、Bluetooth および Wi-Fi 対応機器など) から遠ざけます。
リモートコントロールに、線しか表示されない 	• リモートコントロールとサウンドプロセッサをペア設定します。12 ページの「サウンドプロセッサとリモートコントロールをペア設定する」を参照してください。
リモートコントロールに、ペア設定エラーが表示される 	• 病院の先生にご連絡ください。
リモートコントロールの電源が入らない、またはスリープ状態が解除されない (ディスプレイに何も表示されない) 	• 電池を交換します。6 ページの「電池の交換」を参照してください。

問題	解決策
サウンドプロセッサとリモートコントロールをペア設定できない	• サウンドプロセッサとリモートコントロールの電源が入っていて、スリープ状態から復帰していることを確認します。 • リモートコントロールのペア設定が完了するまで、送信コイルをコイルマークに当てたままにします。 • 病院の先生にご連絡ください。
テレコイルボタンを押しても、テレコイルが起動しない	• オーディオアクセサリがサウンドプロセッサに接続されている場合は、取り外します。 • サウンドプロセッサのテレコイル機能が有効になっていることを、病院の先生にご確認ください。
テレコイルボタンを押しても、オートテレコイルが起動しない	• テレコイルを停止した状態から、テレコイルボタンを短く 2 回、5 秒以内に押してください。 • サウンドプロセッサのオートテレコイル機能が有効になっていることを、病院の先生にご確認ください。
テレコイルボタンを押しても、テレコイルが停止しない	• リモートコントロールのどのボタンも押さずに 5 秒以上待ってから、テレコイルボタンを 1 回押します。
テレコイルボタンを押しても、オーディオアクセサリが起動/停止しない	• オーディオアクセサリがサウンドプロセッサに正しく接続されていることを確認します。

警告

- リモートコントロールがいつもよりも熱くなっている場合は、使用しないでください。すぐに病院の先生に知らせてください。
- コイン型電池などの小さな部品は、窒息を引き起こす危険性があります。常に、電池カバーが外れないようにしてください。電池の交換は、子どもの手が届かない場所で行ってください。幼児には、電池を交換させないでください。
- この機器の改造は許可されていません。
- リモートコントロールの表面を拭く場合は、必ず乾いた柔らかい布を使用してください。
- リモートコントロールのお手入れに、アルコール、家庭用の洗剤または研磨剤を使用しないでください。
- リモートコントロールのディスプレイを曲げたり、強く押したりしないでください。
- リモートコントロールは濡らさないよう注意してください。
- リモートコントロールを分解、改造したり、変形させたり、水に浸したりしないでください。リモートコントロールが正常に機能しない場合は、病院の先生にご相談ください。リモートコントロールを分解した場合、保証は無効になります。
- 湿気や埃が多い場所では、リモートコントロールを保護してください。
- ディスプレイを傷つける恐れのあるものから、ディスプレイを保護してください。
- リモートコントロールの電源が入っているときは、金属性のものをディスプレイに近づけないでください。干渉を引き起こす恐れがあります。
- リモートコントロールを体内 (口の中など) に入れないでください。
- リモートコントロールは、幼児の手が届かない場所に置いてください。

その他の情報

物理構成

リモートコントロールは以下で構成されます。

- アナログおよびデジタル集積回路: マイクロプロセッサ設計に基づいており、双方向ワイヤレス通信機能を備えています。
- ボタンとスイッチ: サウンドプロセッサとリモートコントロールを操作するために使用します。
- ディスプレイ: システムの状態と動作が表示されます。
- 内蔵コイルセンサ
- ストラップ取り付け部

材質

リモートコントロールの筐体とボタンは、ポリカーボネートおよびアクリロニトリル・ブタジエン・スチレン (ABS 樹脂) 製です。ディスプレイは ABS 樹脂製です。

電池寿命

電池寿命とは、使い捨て電池の交換が必要となるまでの、機器が動作する時間を意味します。

ワイヤレス通信接続

リモートコントロールのワイヤレス通信接続は、GFSK (Gaussian Frequency Shift Keying) を 5 個のチャンネルで用いて、2.4 GHz ISM 帯域で行います。この接続には独自の双方向通信プロトコルが使用され、サウンドプロセッサから 2 メートル以内の距離で操作できます。干渉が発生した場合、ワイヤレス通信は 5 チャンネルの中で、最も干渉の影響が低いものに切り替わります。サウンドプロセッサが操作範囲内にない場合や、干渉によって通信接続が妨害された場合には、リモートコントロールのディスプレイに表示されます (13 ページを参照)。

寸法

構成部品	長さ	幅	厚さ
CR210 リモートコントロール	66.0 mm	36.5 mm	10.6 mm

重量

構成部品	重量
CR210 リモートコントロール (電池を含む)	35g

動作特性

特性	値/範囲
ワイヤレス技術	専用の低電力双方向ワイヤレス接続
無線周波数	2.4 GHz
電池の種類	CR2032 または 5004LC の使い捨てコイン型リチウム電池 1 個
電池の動作時電圧	2.12 〜 3.00 V
ボタンとスイッチの機能	リモートコントロールのロック/ロック解除、テレコイル/オートテレコイルの起動と停止、プログラムの調整、音量/感度設定の調整
ワイヤレス通信の範囲	最大 2 メートル
ディスプレイ	アイコン表示モノクロ特別仕様 LCD

環境条件

条件	最小値	最大値
保管および輸送時の温度	-10°C (14°F)	+55°C (+131°F)
保管および輸送時の湿度	0% RH	90% RH
動作時の温度	+5°C (+41°F)	+40°C (+104°F)
動作時の相対湿度	0% RH	90% RH
動作時の気圧	700 hPa	1060 hPa

環境保護

リモートコントロールには、電気/電子機器の廃棄に関する EC 指令 2002/96/EC の対象である電子部品が含まれています。

環境を保護するために、分別していない家庭ごみと一緒にリモートコントロールまたは電池を廃棄しないでください。リモートコントロールと電池は、各地域の規制に従ってリサイクルしてください。

機器の分類

リモートコントロールは、国際規格 IEC 60601-1:2005「Medical Electrical Equipment – Part 1:General Requirements for Basic Safety and Essential Performance (医療電気機器 - パート 1: 基本的な安全および基本重要性能に関する一般要件)」に記載されている医療機器のアクセサリです。

米国連邦通信委員会 (FCC) およびカナダ産業省 (IC) の規定遵守

本機器は、米国 FCC 規定パート 15、ならびにカナダ産業省の RSS-210 に準拠しています。本機器の使用は、以下の 2 つの項目を条件とします。

- 本機器によって有害な干渉が発生しないこと。
- 本機器が外部からの干渉を許容すること (望ましくない動作の原因となるものも含む)。

コクレア社からの明示的な承認を得ずに、本機器を改造または修正した場合は、本機器を使用するための FCC 認可が無効となることがあります。

本機器は、FCC 規定パート 15 に従って、クラス B デジタル機器に課せられる制限に準拠していることが試験によって確認されています。これらの制限は、本機器を住宅地域で使用した際に有害な干渉を適正に防ぐため設けられています。

本機器は、無線周波数エネルギーを発生、使用するほか、これを放射する可能性があります。説明書の指示に従って使用しないと、無線通信に対して有害な干渉を引き起こす原因となります。ただし、特定の方法で使用した場合に、干渉が生じないという保証はありません。本機器の電源をオン/オフにすることによって、ラジオやテレビ受信機が有害な干渉を受ける原因となっていると判明した場合には、以下の方法で干渉を取り除くことを推奨します。

- 受信アンテナの向きや場所を変える。
- 本機器と受信機の距離を離す。
- 受信機が接続されているものとは別のコンセントまたは回路に本機器を接続する。
- 販売店や、ラジオ/テレビの技術者に相談する。

FCC ID:WTOR200BA
IC ID:8039A-R200BA

日本での無線規定遵守

本機器は、日本の電波法 (電波法) およびその関連法 (電気通信事業法) に基づいて認証されています。
本機器を改造してはいけません (改造した場合は技術基準適合証明が無効になります)。

202
LSB003

韓国での無線規定遵守

警告:本無線機器は、操作中に無線干渉の可能性があります。

KCC-CRM-COH-CR210

表示記号

サウンドプロセッサおよびリモートコントロールの各構成部品およびパッケージには、以下の記号が表示されていることがあります。

	取扱説明書を参照
	ラベルには表記されない、機器に関連する具体的な警告または注意
	製造業者
EC REP	欧州共同体における正式代表者
REF	カタログ番号
SN	シリアル番号
LOT	バッチコード
	製造年月日
	温度制限
	湿度制限
CE 0123	公認認証機関番号が付いた CE 登録マーク

オーストラリアおよびニュージーランドでの無線規格適合証明

日本での無線規格適合証明 (技適マーク)

韓国での無線規格適合証明

再使用禁止

Rx Only 医家向け

リサイクル可能な材料

電気部品は各地域の規制に従って処分してください

リチウムイオン電池は各地域の規則に従って処分してください

水に濡らさないでください

コイルマーク。ペア設定の際に、リモートコントロールのこのマークに送信コイルを当ててください。

法的事項

本書の内容は、発行の時点ではすべて事実と相違ありませんが、仕様は予告なく変更される可能性があります。

© Cochlear Limited 2017

Cochlear™

Cochlear Ltd (ABN 96 002 618 073) 1 University Avenue, Macquarie University, NSW 2109, Australia
Tel: +61 2 9428 6555 Fax: +61 2 9428 6352
Cochlear Ltd (ABN 96 002 618 073) 14 Mars Road, Lane Cove, NSW 2066, Australia
Tel: +61 2 9428 6555 Fax: +61 2 9428 6352
EC REP **Cochlear Deutschland GmbH & Co. KG** Karl-Wiechert-Allee 76A, 30625 Hannover, Germany
Tel: +49 511 542 770 Fax: +49 511 542 7770
Cochlear Americas 13059 E Peakview Avenue, Centennial, CO 80111, USA
Tel: +1 303 790 9010 Fax: +1 303 792 9025
Cochlear Canada Inc 2500-120 Adelaide Street West, Toronto, ON M5H 1T1, Canada
Tel: +1 416 972 5082 Fax: +1 416 972 5083
Cochlear AG EMEA Headquarters, Peter Merian-Weg 4, 4052 Basel, Switzerland
Tel: +41 61 205 8204 Fax: +41 61 205 8205
Cochlear Europe Ltd 6 Dashwood Lang Road, Bourne Business Park, Addlestone, Surrey KT15 2HJ, United Kingdom
Tel: +44 1932 26 3400 Fax: +44 1932 26 3426
Cochlear Benelux NV Schaliënhoevedreef 20 i, B-2800 Mechelen, Belgium
Tel: +32 15 79 55 11 Fax: +32 15 79 55 70
Cochlear France S.A.S. 135 Route de Saint-Simon, 31035 Toulouse, France
Tel: +33 5 34 63 85 85 (International) or 0805 200 016 (National) Fax: +33 5 34 63 85 80
Cochlear Italia S.r.l. Via Larga 33, 40138 Bologna, Italy
Tel: +39 051 601 53 11 Fax: +39 051 39 20 62
Cochlear Nordic AB Konstruktionsvägen 14, 435 33 Mölnlycke, Sweden
Tel +46 31 335 14 61 Fax +46 31 335 14 60
Cochlear Tıbbi Cihazlar ve Sağlık Hizmetleri Ltd. Şti.
Çubuklu Mah. Boğaziçi Cad., Boğaziçi Plaza No: 6/1, Kavacık, TR-34805 Beykoz-Istanbul, Turkey
Tel: +90 216 538 5900 Fax: +90 216 538 5919
Cochlear (HK) Limited Room 1204, 12/F, CRE Building, No 303 Hennessy Road, Wanchai, Hong Kong SAR
Tel: +852 2530 5773 Fax: +852 2530 5183
Cochlear Korea Ltd 1st floor, Cheongwon Building 33, Teheran-ro 8 gil, Gangnam-gu, Seoul, Korea
Tel: +82 2 533 4450 Fax: +82 2 533 8408
Cochlear Medical Device (Beijing) Co., Ltd
Unit 2208-2212, Tower B, Gemdale Building, 91 Jianguo Road, Chaoyang District, Beijing 100022, P.R. China
Tel: +86 10 5909 7800 Fax: +86 10 5909 7900
Cochlear Medical Device Company India Pvt. Ltd.
Ground Floor, Platina Building, Plot No C-59, G-Block, Bandra Kurla Complex, Bandra (E), Mumbai – 400 051, India
Tel: +91 22 6112 1111 Fax: +91 22 6112 1100
株式会社日本コクレア（**Nihon Cochlear Co Ltd**）〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-7 お茶の水元町ビル
Tel: +81 3 3817 0241 Fax: +81 3 3817 0245
Cochlear Middle East FZ-LLC
Dubai Healthcare City, Al Razi Building 64, Block A, Ground Floor, Offices IR1 and IR2, Dubai, United Arab Emirates
Tel: +971 4 818 4400 Fax: +971 4 361 8925
Cochlear Latinoamérica S.A.
International Business Park, Building 3835, Office 403, Panama Pacifico, Panama
Tel: +507 830 6220 Fax: +507 830 6218
Cochlear NZ Limited
Level 4, Takapuna Towers, 19-21 Como St, Takapuna, Auckland 0622, New Zealand
Tel: + 64 9 914 1983 Fax: 0800 886 036

www.cochlear.com

販売名:Nucleus 6 人工内耳システムサウンドプロセッサ
承認番号:22500BZX00513000
詳しい情報については、医師用パッケージの添付文書をご覧ください。

ACE、Advance Off-Stylet、AOS、AutoNRT、Autosensitivity、Beam、Button、Carina、Cochlear、コクレア、Codacs、Contour、Contour Advance、Custom Sound、ESPrit、Freedom、「Hear now. And always」、Hugfit、Hybrid、inHear、Invisible Hearing、MET、MP3000、myCochlear、NRT、Nucleus、科利耳、Off-Stylet、SmartSound、Softip、SPrint、True Wireless、楕円形のロゴおよび Whisper は、Cochlear Limited の商標または登録商標です。Ardium、Baha、Baha SoftWear、BCDrive、DermaLock、EveryWear、Vistafix および WindShield は、Cochlear Bone Anchored Solutions AB の商標または登録商標です。Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標です
© Cochlear Limited 2017

Hear now. And always

466332 ISS3
Japanese translation of 472006 ISS3 JUN17